



美味しいお話

平成30年 10月

10/22 (月) の給食は
京都の **時代祭** にちなんだ献立です。

10/22 の ^{こんだて} 献立

錦丼
いもの子汁
抹茶牛乳寒天



紹介した本は
学校図書館で展示中。
借りられます！



注目の食材

時代祭 → 京都

『ニッポンを解剖する！ 京都図鑑』 JTBパブリッシング

『京都の祭りと行事365日』 淡交社

『鴨川ホルモー』 万城目学/著 角川文庫

時代祭は、桓武天皇が平安京に入られた10月22日に行われる京都三大祭りの一つ。平安神宮の創建と、平安遷都1100年を祝して1895年(明治28年)に始まりました。平安時代から明治維新までの時代装束を付けた総勢2000人の大行列が練り歩きます。厳密な時代考証に基づき再現された衣装や祭具は素晴らしく、圧巻だそうです。明治時代から続くこのお祭りを『京都の祭りと行事365日』では「“新しい”お祭り」と紹介しています。さすが古都！本をめくると、京都では毎日何かしら伝統のあるお祭りや行事があることに驚きます。

『京都図鑑』とあわせて京都の魅力を再発見してください。

もう一冊、京都が舞台の面白い小説をご紹介します。タイトルは『鴨川ホルモー』。鴨川は京都の街を流れる川ですね。「ホルモー」って何？食べ物ではないですよ。京都の大学生たちのサークル活動で、他大学との交流試合をする話といえばそれまでですが、新入生の勧誘からして普通ではなく、その試合というのも普通ではない。選ばれたものたち(学生)が覚書だの協定だの戦術だのを駆使し、見えないものたち(鬼?)をあやつって戦国時代のような合戦を繰り広げる、なんとも荒唐無稽なお話なのです。現実離れした設定も舞台が京都だからこそその説得力あり。「ホルモー」が何なのかは読んでみてのお楽しみ。作中に、三大祭りの残り二つ「葵祭」と「祇園祭」が登場します。

日本茶(緑茶) 『おいしい入れ方から歴史まで お茶の大研究』 PHP研究所

家庭で飲まれる緑茶の量は年々減ってきていますが、抹茶味は人気があります。抹茶も調味料のひとつのように使われてきていますね。実はここ数年抹茶は世界的にもちょっとしたブームになっていて、英語で「Matcha」といえば通じるレベルだとか。健康に良いというので和食が注目されているところに、抹茶ティーラテの流行があったからだそうです。

緑茶は昔からある日本の飲み物ですが、ペットボトルのお茶も出てきて、お茶の飲み方も変わっています。身近にありながら、いつからどうやって日本でお茶が飲まれるようになったのか、緑茶にもいろいろ名前があるみたいだけど何が違うのか、知らないことも多いのでは。興味を持った人はぜひ手に取ってみてください。

